

原発事故から12年

甲状腺がんの 若者への 支援の現状

福島県は2011～2013年に「県民健康調査（甲状腺検査）」先行調査を実施し、以降4回の調査により316人（調査対象者：震災時に概ね18歳以下の県民）に悪性および悪性疑いが見つかりました。政府や県は、県内で見つかっている小児甲状腺がんと原発事故の因果関係は「現時点で認められない」としています。また現在、政府は今後のエネルギー政策に原子力発電推進を検討しています。電気を消費する市民は何を選択すべきか問われます。小児甲状腺がん患者の支援活動を続けている千葉親子さんを福島よりお招きして、現状と課題を伺います。



お話

千葉親子さん 甲状腺がん支援グループ あじさいの会共同代表
小林正二さん 大田区で311子ども甲状腺がん裁判支援勉強会運営

- 日時** 2023年12月9日（土）14:00~16:30
- 場所** 大田区立消費者生活センター2階 講座室
- 申込** 50名先着順（下記サイトから、または問合せ先電話・メールにお申し込みください）
<http://forms.gle/s4cKhCxoMX3GAD147>
- 主催** 23区南生活クラブ運動グループ地域協議会



お申込みフォームQR

参加費
無料

どなたでも
参加できます

お問い合わせ: 大田・生活者ネットワーク気付「甲状腺がんの若者への支援の現状」実行委員会
(03) 6424-7561 e-mail: koujyousenwakamonosien@gmail.com